

暮らしが変

不正をなくし



甲良民報

2011年11月号外 発行：日本共産党甲良町支部  
連絡：甲良町在土 463 (西澤) Tel.Fax38-4949

# 安心して暮らせる町に

暮らしと地域を守るには、

**国の悪政にはっきりモノ申すこと**

地方自治には、国の悪政から住民の暮らしを守る防波堤の役割が求められます。

日本共産党議団が9月議会に提案した「原発のすみやかな撤退を求める意見書」が可決され、内閣総理大臣など関係先に送付されました。

T P P 交渉参加が、日本と甲良町農業・地域を破壊することを議会で明らかにし、他の議員と共同して提出した国への「意見書」が可決されました。

日本共産党議員団は、苦しい財政の国民健康保険については、国庫補助を増やさせるよう発言し、また、消費税増税許すなど意見書案を提出してきました。



- 若者の子育て支援  
出産祝い金制度を創設し、子育てを支援します。
- 燃えるごみは週2回収集に  
近隣の市町のように、年間を通じて週2回の回収を実施します。

- 健康づくりの推進  
甲良町は県下で平均寿命が最も短い町です。管理栄養士、保健師などを増やし、訪問指導などの充実をはかります。

- 国保税 介護保険料の軽減  
アンケートでも多くの人が願う国保税や介護保険料を引き下げます。
- 住宅リフォーム補助制度の拡充を  
補助率、限度額ともに引き上げ、利用しやすいように拡充します。
- 中学卒業まで通院医療費無料に  
中学校卒業まで入院医療費が無料になりました。さらに、通院医療費も無料にします。

## 【日本共産党の2議席は】

- ☆ 2つの常任委員会に入れます  
(チェック機能が2倍になります)
- ☆ 毎議会2人で一般質問ができます  
(発言力が2倍になります)
- ☆ 動議が提案できます  
(賛同者が1人以上必要なため)

## 道りがとおる

### あたりまえの町政へ

当時の副議長らがかかわる官製談合を告発し、いま甲良町は「世直し・町直し」の進行中。無法や利権のやりたい放題が、少しはましになりつつあります。後戻りさせてはなりません。不正をなくしてこそ安心して暮らせる「まちづくり」ができるのではないのでしょうか。

日本共産党 西澤のぶあき 丸山みつお の2議席で